

空と窓と

京都の路地は奥に深いです

na +





清水寺の仁王門を裏からみたところなんですが、  
京都盆地が一望出来る、、、というより  
ジャンプ台のように立っているので、恐いです。



この着物のレンタル、ヘアメイクつきで¥4,000弱から。  
安いと思うんですがどうでしょうか。

こういう割と派手な柄をお召しの方は、近くに行くと  
外国語を話されていることが多かったです。



ひな壇に上がって記念撮影って、もう何十年前の事かなあ。

どこかの中学？

京都では、セーラー服も詰め襟も、殆ど絶滅しました。



彼ら、結構長い間ここで笑ってるんです。  
2ページ前にも写っています。  
何をしに来たんでしょうか。



清水寺あたりはたどり着くまで坂。  
行ってからも坂。  
どこもかしこも坂。  
です。

ローヒールな靴がよいです。



かなり混んできました。



美味しい？ 何味？





この着物を着ているカップルは、  
中国からこられたようです。

着物の柄の縫い合わせがめちゃくちゃですけど、  
面白い柄ですね。  
男性の方はシックでいいと思います。



ますます混んできました。  
11:40ごろです。



これ面白い。  
胡瓜のレモン漬けとか書いてありました。  
こんなの誰が考えるんでしょうねえ。

カッパが好きそうです。



やっぱ、サングラスは必需品すか。



清水坂から一本南に茶わん坂というのがあります。  
こんな感じで、陶器を売っている店が軒をつらねています。

かつてはこの五条坂の辺りに京焼きの窯が集まっていたんですが、  
宅地化がすすんだため、防火のために山科の方に集団で移転しています。

なので、清水焼というのは、今はブランド名だけとなってしまいました。



そろそろ戻ることにしました。産寧坂の途中あたり。  
ここは、七味屋さんの店先だったと思います。

好みに合わせて調合してくれます。  
この方、店の前で固まっていたみたいです。

わたくしは、もっぱら原了郭の黒七味を使っています。





八坂の塔から東大路通りに抜けて行く坂道です。  
とにかく坂ばかりなので、道を間違えると  
降りた坂をまた登らないといけなくなる、という  
難儀な場所ではあります。



期間限定

“桜もちの  
フレンチトースト”

¥1,360-

ホットココア ¥500-

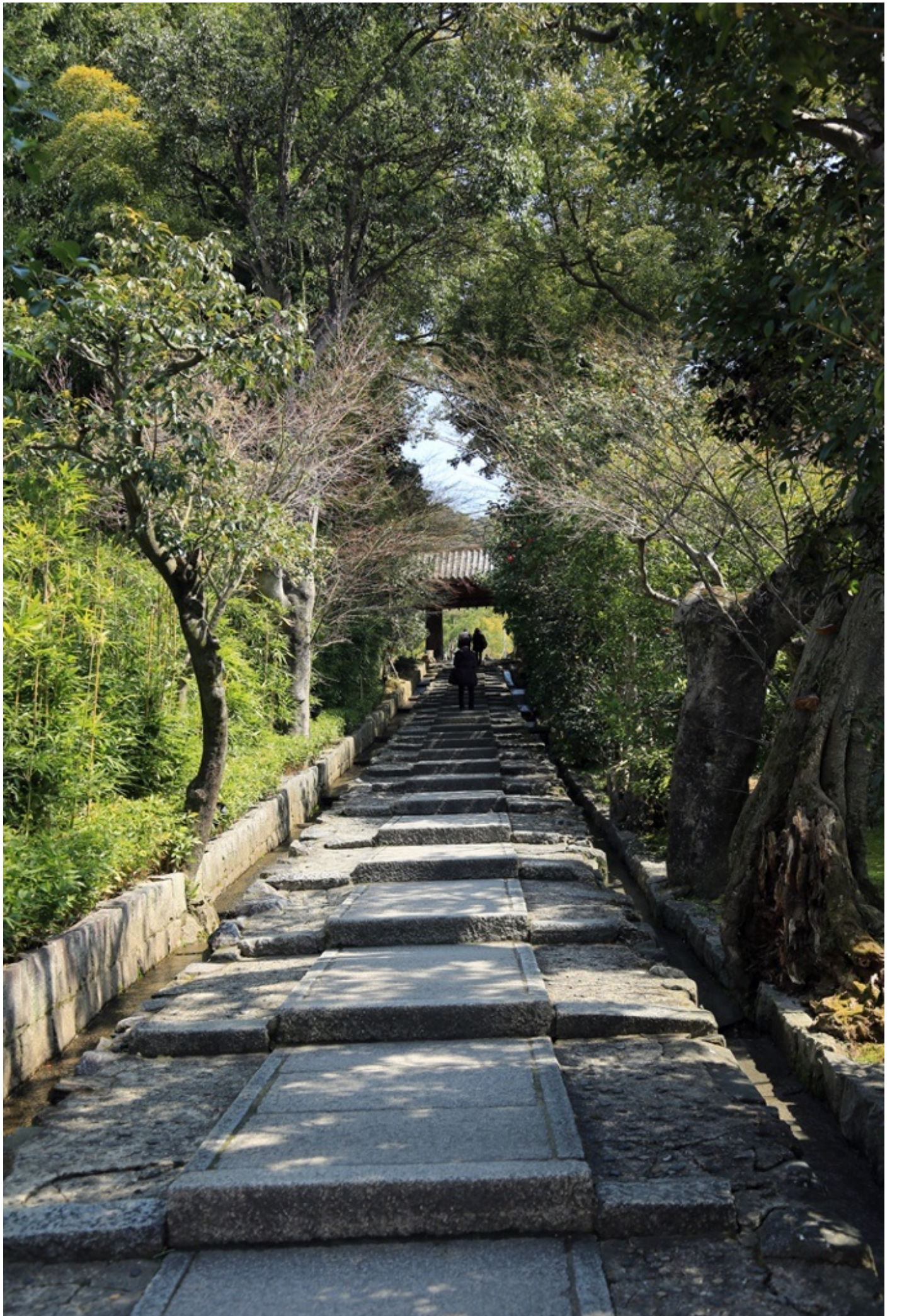


takeout もできます

---

、、、って、どんな食べ物やねん！

フレンチトーストの上に桜餅が乗ってるだけとか、、、  
そんなことはないか。あんこははいつてるの？  
かわりアンパン？



---

## 通称ねねの道から高台寺へ上がっていく石段

お寺の前が長い石段になっていて、両側が樹木で覆われている  
のには理由があります。

石段は概して登りやすくは作られていません。  
畢竟足下を見ながら、無言で登り続けることになります。  
次第に無心の境地に近づいたところで、登りきったところは  
パッと視界が開け、明るい日の光が目に入ってくる。

暗闇の中に光を見つける。悟りを得る心地がする。  
そう作られているのだそうです。

一度登るだけの、俄信心では無理でしょうけど。



円山公園から祇園八坂界隈の東山一帯で  
花燈籠というイベントが行われているのですが、  
夜は灯籠、昼は生け花がそこここに飾られています。

”なんとか流”の家元が、面子をかけてやってはるんでしょうね。  
奇麗ですけど、ちょっとこわー。京都やからなあ。



うーん、足下が残念。





長楽館 もとはタバコ王の豪邸だったんですが、  
今はカフェ・レストランになっています。





ここは1回しか入った事ありません。

高いんです。



製作中

もちろんお弟子さんやらが何人かついて。

ちょっと見ていたんですが、ばっつんばっつん刈り込んで  
いかはるので驚きました。





風に揺れる柳の新芽  
八坂界限はここまで。



「黄金の麦畑」

1.Largo

<http://p.booklog.jp/book/58662>

2.Allegro molto

<http://p.booklog.jp/book/83865>

3.Adajo (連載中)

「黄昏の王国」

イーリアス編

<http://p.booklog.jp/book/49612>

アリシア編

<http://p.booklog.jp/book/51254>

Photo 「空と雪と、京都の路地は奥に深いです na」 <http://p.booklog.jp/book/84165>

Photo 「空と雪と、京都の路地は奥に深いです mu」 <http://p.booklog.jp/book/83952>

「Travelogue ep.01」 <http://p.booklog.jp/book/83694>

Photo 「Hina」 <http://p.booklog.jp/book/83499>

Photo 「空と雪と、京都の路地は奥に深いです it」 <http://p.booklog.jp/book/82880>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」 <http://p.booklog.jp/book/82643>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」 <http://p.booklog.jp/book/82160>

Photo 「からくれないに ni」 <http://p.booklog.jp/book/81713>

Photo 「bleu, jaune, vermillon」 <http://p.booklog.jp/book/81111>

Photo 「H.45」 <http://p.booklog.jp/book/80229>

Photo 「Fly me to Paris Ⅰ～Ⅳ」

Photo 「祇王 こけのころも」 <http://p.booklog.jp/book/74864>

Photo 「空と雨と6月と」 <http://p.booklog.jp/book/74060>

小説

「ネガティブズ2」

「ネガティブズ」

<http://p.booklog.jp/book/73051>

Photo 「空と僕と自転車とni」 <http://p.booklog.jp/book/72996>

Photo 「空と僕と自転車と」 <http://p.booklog.jp/book/72092>

Photo 「空と椿と木蓮と、そして花木水」 <http://p.booklog.jp/book/71344>

Photo 「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」 <http://p.booklog.jp/book/70700>

Photo 「空と雲と、ときどき春の野を行く」 <http://p.booklog.jp/book/70137>

Photo 「空と月と、夜桜デート」 <http://p.booklog.jp/book/69415>

Photo 「空と木と、ときどきの梅暦」 <http://p.booklog.jp/book/68722>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」 <http://p.booklog.jp/book/65536>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」 <http://p.booklog.jp/book/64153>

Photo 「空と木とたまに月」 <http://p.booklog.jp/book/62540>

Photo 「からくれないに」 <http://p.booklog.jp/book/61473>

Photo 「空と雲と、ときどき月」 <http://p.booklog.jp/book/36294>

Photo 「夢みる桜」 <http://p.booklog.jp/book/45286>

— 僕カノシリーズ —

「僕が彼女に殺された理由（わけ）」 <http://p.booklog.jp/book/31906>

「僕と彼女の選択の事由（わけ）」 <http://p.booklog.jp/book/35498>

「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」 <http://p.booklog.jp/book/36101>

「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」 <http://p.booklog.jp/book/36617>

「僕と彼女と複雑な関係者たち」 <http://p.booklog.jp/book/37238>

「僕と彼女と単純な関係式」 <http://p.booklog.jp/book/37731>

「僕と彼女と校庭で 夏」 <http://p.booklog.jp/book/38409>

「僕と彼女とアケア」 <http://p.booklog.jp/book/38977>

「僕と彼女のインベンション」 (次回)

— その他 —

傘がない <http://p.booklog.jp/book/69798>

夕暮れの赤ちょうちん <http://p.booklog.jp/book/42024>

いもうと <http://p.booklog.jp/book/40794>

サマータイム・ブルース <http://p.booklog.jp/book/34054>

危険なドライビングマジック <http://p.booklog.jp/book/33630>

デフラグメント <http://p.booklog.jp/book/33116>

インフルエンス あのか所の僕たち <http://p.booklog.jp/book/32752>

花舞い、名残り雪 <http://p.booklog.jp/book/32187>

詞画集「ただ憧れだけを」 <http://p.booklog.jp/book/34472>

画集「彼と彼女の表紙画集」 <http://p.booklog.jp/book/39345>